

兼用型ソルガム「スズホ」の奨励品種への編入

(畜試 草地部)

1. 背景とねらい

本県における転作作物の中で、飼料作物は転作面積の6割弱を占めている。しかし、その生産は、不良な土壌条件下での作付や更新されないままの長期作付、あるいは家畜と結び付かない飼料生産等の条件の下で、特に牧草ではその有効利用も十分図られていない。転作飼料作物の中で長大作物は有効活用される度合いが高いが、繁殖牛では高カロリーのとうもろこしだけに頼らず、良質繊維質粗飼料の生産・給与が必要になってきている。したがって、稲作との労働力が競合することなく、しかも耐湿性があり、いろいろな利用法（青刈・サイレージ）が可能な長大作物が求められている。

そこで、最近の栽培試験から耐倒伏性に優れ、播種・刈取適期幅が広く、多様な利用方法が可能と認められる「スズホ」を奨励品種に編入した。

2. 技術の内容

(1) 「スズホ」の来歴と特性

市販・流通名	スズホ	系統名	農林交3号（旧系統名、東山交2号）			
来歴	長野県中信農業試験場で育成され、昭和57年に農林交3号として登録されたF ₁ 品種					
試験場所 （年次）	岩手畜試他 （S.61～H.1）	利用 方法	青刈 サイレージ	早晚性	早生	
出穂期（月日）	8.22（1518℃）		生草収量（Kg/10a）		5865	
開花期（月日）	8.28（1699℃）		乾物 収量 （Kg/10a）	全重	1813.8	
糊熟期（月日）	9.28（2221℃）			子実重	775.8	
稈長（cm）	223		耐倒伏性		強	
穂長（cm）	28		適応地域		県下全域	
栽培上の留意点	生育開始温度（約15℃）に合わせた播種期を設定する。					

3. 選定の理由

- (1) 早生のソルガム（供試延べ51品種）の中では最も耐倒伏性が強い。
- (2) 兼用型ソルガムとしては多収である。
- (3) 晩播適応性があり、田植並びに1番草刈取作業終了後（6月中下旬）に播種しても十分糊熟期に達し、乾物収量1.4 t/10 aが可能である。
- (4) 利用方法が多様であり、出穂期（8月中旬）以降から、強い降霜（11月）までの青刈利用、糊熟期（9月下旬）以降からサイレージ利用が可能である。

4. 普及上の留意点

- (1) 湿潤畑で栽培可能である。
- (2) 一代雑種であるので自家採種利用はできない。
- (3) 種子消毒剤の粉依が必要である。
- (4) 適正栽植本数（20000本/10a）を厳守して栽培する。

5. 試験成績

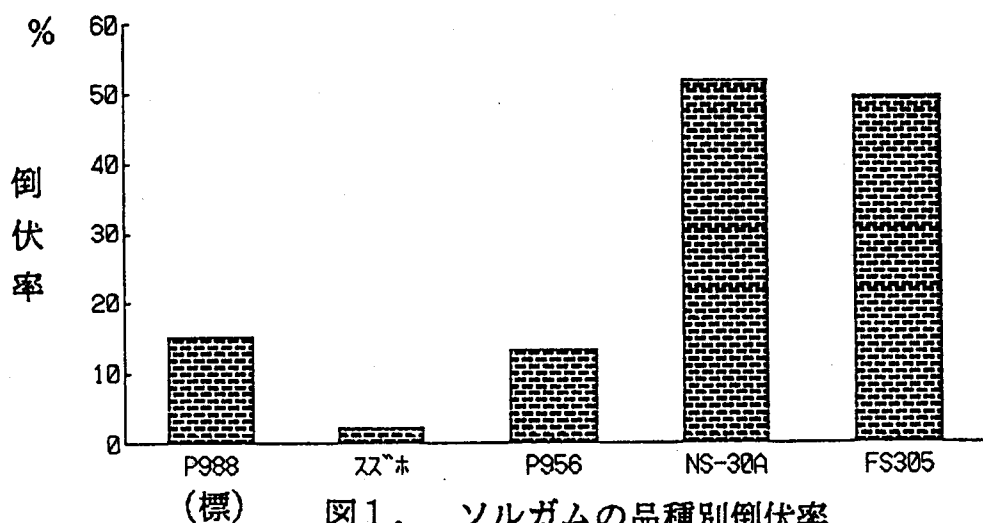


図1. ソルガムの品種別倒伏率

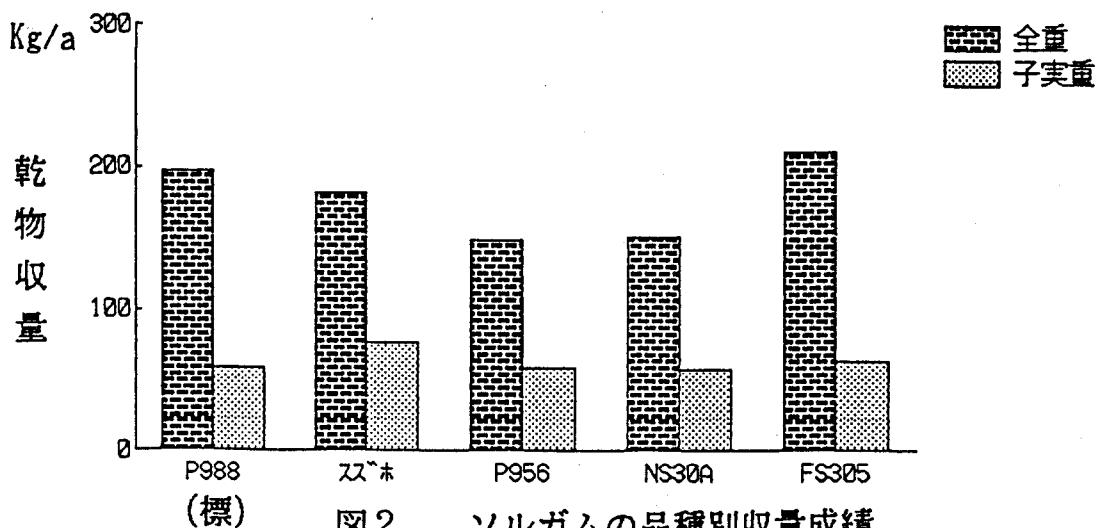


図2. ソルガムの品種別収量成績